

# 名水サミット in 安曇野

大会テーマ：凜として、潤う。わたし時間。湧水で触れる 北アルプスの恵み。

「名水百選」に代表される全国の優れた水環境は、地元の人々だけでなく、そこを訪れるすべての人の心配りなくしては、将来にわたって保全・継承していくことはできません。市制施行 10 周年にあたり、私たちの住む安曇野をはじめ全国の「優れた水環境」を次代に引き継ぐため、「名水サミット in 安曇野」を開催します。

**開催日** 8月28日(金)

**■時間** 午後0時50分から5時まで  
(開場：正午)  
**■場所** 安曇野スイス村サンモリッツ  
**■その他** 参加無料・事前申し込み不要

## シンポジウム

### 名水紹介

#### 安曇野の宝 めぐる水

発表者：百瀬新治さん (豊科郷土博物館館長)

### 事例発表

#### 今も続く地元のほこれる水

発表者：豊科北中学校科学部の生徒の皆さん

### 基調講演

#### 安曇野の水、日本の水 — 天気は水からできている —

講師：石原良純さん (俳優・気象予報士)

### 特別講演

#### — 地域の水を取り巻く環境の現状と課題 — 地域の水の資源・付加価値としての 可能性とマネジメント

講師：橋本淳司さん (水ジャーナリスト、アクアスフィア代表)

### パネル ディスカッション

#### 地方発! 地域の水を守り・育み・活かす戦略

コーディネーター 橋本淳司さん

パネリスト  
三重県志摩市長 大口秀和さん  
静岡県三島市長 豊岡武士さん  
栃木県塩谷町長 見形和久さん  
安曇野市長 宮澤宗弘 (順不同)

環境課環境保全担当 TEL 71・2491 FAX 72・3176



安曇野の豊富な水で育つ信州サーモン



安曇野わさび田湧水群

優れた水環境を次の世代へ

## 名水百選全国大会 名水サミット開催

全国水環境保全市町村連絡協議会全国大会(名水サミット)を安曇野市で開催  
— 安曇野で2度目の開催 —

全国水環境保全市町村連絡協議会は、昭和60年3月に環境庁(当時)が「名水百選」を選定したのを契機に、同年8月「名水百選」の所在する市町村が連携し、水環境の保全の推進と水質保全意識の高揚を図ることを目的に設立されました。

全国水環境保全市町村連絡協議会の全国大会として「名水サミット」が毎年名水の地で開催され、本年度は安曇野市で開催されます。本市での開催は、平成7年に当時の豊科町で開催したのに続き2度目の開催になります。大会に合わせ、現在市が取り組んでいる地下水保全の取り組みや安曇野の地下水の魅力を全国に発信していきます。

### 【名水百選】

水質や周辺の自然環境と景観、地域住民による保護、保全活動、歴史が総合的に判断されます。市内では合併以前の昭和60年に豊科と穂高地域をまたぐ一帯の湧水が「安曇野わさび田湧水群」として選定されました。平成20年度には北海道洞爺湖サミットに合わせ、「平成の名水百選」が新たに認定され、平成27年度の協議会員数は184名水(175市町村)となっています。

また、平成8年には、国土庁(現在の国土交通省)が水資源を地域文化や産業、暮らしに生かしているかを評価した「水の郷」に豊科、明科、穂高をまたぐ一帯が認定されました。



石原良純さん



橋本淳司さん

安曇野は、北アルプスから流れる豊かな地下水に恵まれ、その地下水はワサビ栽培や養鱒などの地域産業を支える地域資源として、さらに、水道水として市民の皆さんの暮らしにも密接に関係している大切な財産です。市では、「地下水の保全・涵養及び適正利用に関する条例」を施行し、モデル事業として転作田における涵養事業の取り組みや松本盆地を一つの水がめとして捉え広域的な議論を進めてきました。昨年度からは、「水環境基本計画」の策定に着手し、現在、検討を進めています。国でも、昨年成立した水循環基本法により、地下水を含む水を「国民共有の貴重な財産」と位置付けました。今後、「持続可能な水循環社会の形成」に向けて、安定した地下水保全と利用が両立できる施策を進めてまいります。また、8月28日の「全国名水サミット」では、昭和の百選に選定された「安曇野わさび田湧水群」と自然豊かな安曇野を全国に発信していきます。地域の財産であります水資源を、より良い形で将来に引き継ぐためにも、シンポジウムには、多く皆さんが会場へお出掛けください。

市長 宮澤宗弘